

第3次大洲市総合計画策定関係

大洲市の将来を考える ワークショップ報告書

日時 令和8年1月18日（日）10時～
会場 市役所2階大ホール



実施概要

1 開催日	令和8年1月18日（日） 10時00分～12時20分
2 会場	市役所2階 大ホール
3 参加人数	43人
4 実施方法	ワークショップ形式 ※ 6グループ（1グループ6～8名）
5 実施内容	(1) 開会 (2) 総合計画に関するクイズ (3) 総合計画について (4) ワークショップ (5) オンラインプラットフォームについて (6) 閉会
6 資料	大洲市の将来を考えるワークショップ



ワークショップの方法

今回のワークショップでは、大洲市の資源や魅力を活かして、ターゲットに対してどのような取組ができるかを考えいただきました。

ワークショップの「テーマ」「進め方」「まとめ方」は次のとおりとなります。

テーマ

大洲市の資源、魅力を活かす取組を考える

ターゲット

若年世代（20～30代）

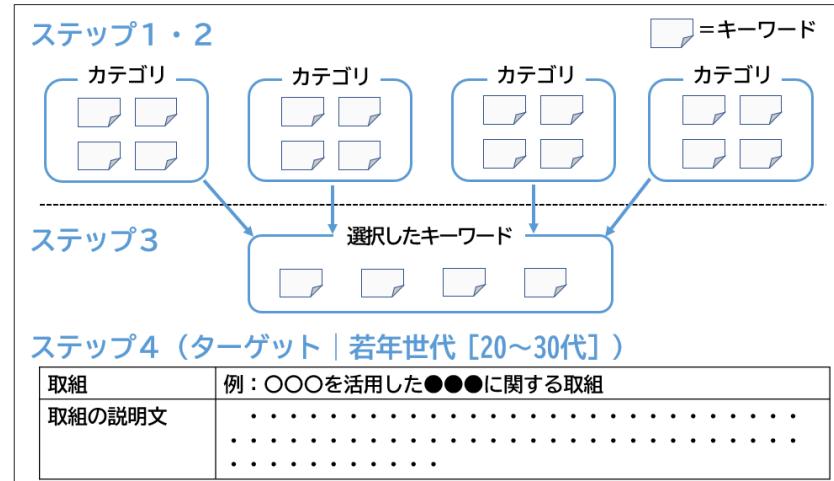
<進め方>

本日のステップ

区分	内容
自己紹介 (5分程度)	・自己紹介（氏名・住んでいる地区・参加した理由） ・グループ内でリーダーを決める
ステップ1 (個人・10分)	・大洲市の資源や魅力を考える
ステップ2 (チーム・10分)	・考えた資源や魅力をチーム内で共有する
ステップ3 (チーム・20分)	・活かしたい資源や魅力を選ぶ
ステップ4 (チーム・30分)	・取組（事業・施策）を考える (ターゲットを対象にした資源や魅力を活かした取組)
発表	・各チーム3分程度

<まとめ方>

STEP 1～4 | 模造紙記入例



検討内容の概要

グループ	区分	内容
1	取組 説明	空家(廃校含)を利用した、世代を超えたコミュニティの場を整備 子育て支援に焦点をあて、子どもの遊び場が少ない現状を改善するため、空き家を活用して高齢者が昔の遊びを伝承する場や、廃校を利用した学童保育、親子の交流を深めるカフェの設置を提案する。 さらに、校庭を畠にして地域住民と子どもが共に取組み、食育の場を設けることで、地域と人の繋がりを強化し、子どもたちが元気に活動できる環境作りをする。
2	取組 説明	ふるさとを想う心を育てる、多世代交流と次世代活躍の場づくり 多世代の地域コミュニケーションを重視し、子どもが地元の自然や人と触れ合う時間を増やし、郷土への良い記憶を残すことが、将来のUターンに繋がると考え、子どもが肱川の河川敷で遊べる環境の整備を提案する。 また、大洲駅から肱南地区への歩行動線の整備や、若者が自発的に店を開けるような働く場(起業)の充実も重要と考える。
3	取組 説明	おおず版キッザニア アクトピア跡地に、大規模屋内施設「大洲版キッザニア」を整備することを提案する。酷暑で外遊びが困難な中、子どもが職業体験や農業、プログラミング、伝統文化を学べる場を提供し、郷土愛を育む。また、ママ友の交流サロンや地産地消キッチンも併設することで、移住促進や関係人口の創出も視野に入れる。 重要なポイントとして、若者に到達しやすいSNSやインフルエンサーを活用した情報発信を積極的に行い、大洲の魅力を広く伝えることが必要。

検討内容の概要

グループ	区分	内容
4	取組 説明	自然環境を活用した一次産業に関する取組 豊かな自然を活かした一次産業の活性化について検討した。 大洲城や肱川などの資源をアピールし、農業・漁業・林業の体験を通じて新たな雇用を生み出すことを提案する。市役所と連携した休耕田の活用や、若年層の収入安定化も重要。 また、学校統合に合わせた環境整備や、新市民会館などを活用して、子どもたちが集まる居場所を作ることで子育て世代を支援できると思う。
5	取組 説明	自然・人・ＩＴを活用したつながり 「つながり」をキーワードに、ＩＴと人を結びつける取組みを提案する。 具体的な取組としては、廃校を活用した生徒向けの国内留学や、英語特化型学校の設立、多世代が価値観を共有する「語り場」の創出。 また、空き家をサテライトオフィスとして整備し、大洲に住みながら東京の仕事ができるリモートワーク環境を整えることで、多様な働き方に対応し、仕事と人を繋ぐ未来の形を描いた。
6	取組 説明	空き地・空間・若者・地域文化を活用した持続可能なまちづくり 子どもたちの郷土愛を育むため、学生や関係人口が、「学び」「交流」「挑戦」できる拠点をアクトピア跡地に整備することを提案する。 有名な建築家を交えて質の高い場を創り、学生が主体的に自習やカフェ運営、地元事業者との交流ができるようにする。駅前周辺に賑わいを生み出し、学生時代に「楽しかった」という原体験をすることで、将来自ら大洲を支える持続可能なまちづくりの循環が生まれ、未来が作られると思う。

検討内容 | グループ1

取組

空家（廃校含）を利用した、世代を超えたコミュニティの場を整備

内容

- ▶ 昔の遊びを地域の高齢者から子どもたちに教えて一緒に遊ぶ
- ▶ 廃校を活用して学童に利用→カフェを併設して親同士の交流の場を作る
- ▶ 運動場を利用して畠を作る→食育の場を作る

人

明るいやさしい人柄多い
人と人との距離が近い
各地域のレジェンド
(大洲・長浜・肱川河辺)
住民の積極性

特産物

食べ物を活かしている
(いもたき→大洲コロッケ)
いもたき 志ぐれ

生活

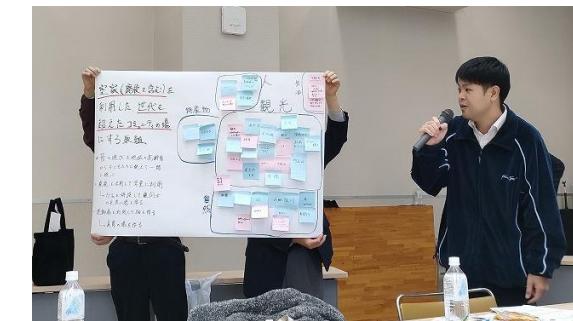
市集中型
福祉(介護)
独居老人対象老人ホーム

観光

観光（肱南地区へ人が集まる） 大洲城
古民家を利用した今風のホテル！ 町並み
トミス山つづじ 海水浴 赤橋 空家
大洲まつり 古民家 とみす山 観光
肱南おはなはん 肱南地区 肱川うかい
うかい ポコパン横丁 歴史的資源
外国の方に興味を持ってもらえる町並みがある

自然

農業 林業 觀光
自然に囲まれた立地 海（瀬戸内海） 肱川
自然ゆたか！空気がおいしい 魚釣り 山
肱川の水源
→小水力発電
→企業の誘い
(IT企業・ベンチャー)



検討内容 | グループ2

取組

ふるさとを想う心を育てる
多世代交流と次世代活躍の場づくり

内容

- ▶ 多世代の地域コミュニケーション
- ▶ 郷土への良い記憶を残すことで将来の帰還（Uターン）に繋げる
- ▶ 子どもが肱川の河川敷で遊べる環境整備
- ▶ 若者が自発的に店を開けるような働く場の充実

食
・いもたき
・エコラブトマト

食（野菜・くだもの）

野菜が美味しい

しぐれ 農地が多い

農林水産業 アユ

自然の豊かさ 艮川あらし

水郷肱川 カヌー うかい

肱川での川下り
堤防でのサイクリング

うかい・いもたき

肱南（あさもや周辺）の町並み

古民家の活用 城下町の景観

観光施設
・町並・うかい
大洲城

肱川 + 大洲城 + 豊かな自然

地産地消

雇用の充実

大手企業の誘致

肱南地区少しづつ
若者が増えている

大洲駅から肱南地区の動線の整備

子供が遊べる場所 カヌー

肱川沿でキャンプを行う

観光客を呼ぶ 河川敷の利用
肱川で泳がせ

観光施設を活用した集客と雇用

あたたかさ（人）つながり

人の良さ

行政・金融機関民官が近い



検討内容 | グループ3

取組

おおず版キッザニア
目的 | 農業×保育と子ども～若者が遊べるところ！

内容

市民農園（農家さんからレクチャー）、デジタル教育、文化教育（歴史）、屋内遊具（命を守るために）、預かり所、図書館、保護者向けサロン、掲示板、キッチン

大洲城・臥龍山荘etc歴史遺産 町並み

歴史的なまち並み サロン 子ども

肱南地区の町並み ニッポニアホテル

周辺市町におしゃれなバー・ブランド
ショップ・レジャーシートが多い

外国人観光客が増えた

観光場所が増えた 病院がますますある

自然の家（体験・宿泊・交流の場）

年を取ると物をあげたりお世話する

地域の人との距離が近く、優しい

オシャレな個人のお店が増えた

子供も保育所あづけやすくなつた

保育所が新しくなつた

デジタルへの取組

高速道路がある 南予～中予要衝 神楽

ししまい 地域イベントの取組 鹿踊り

買物する所ある 肱南地区イベント盛ん

無印がある（今までない
ジャンルの店が増えた） 道路のきれい

大洲産を使った料理 しぎれ・残月 鮎

野菜のおいしさ 山の幸

長浜のみかん・キウイ 日本三大いもたき

若手農業家（アグルビト・長浜ミライズ）

頑張っている

富士山（ツツジ） 肱川あらし 海がある

カヌーできる（肱川） 山や川の自然が豊か

四季折々の風景 うかい 森林 ダム湖



検討内容 | グループ4

取組

自然環境を活用した一次産業に関する取組

内容

- ▶ 一次産業（農業・林業・漁業）を活かして雇用を生む
- ▶ 自然のよさをアピール
- ▶ 指導できる人も
- ▶ 働きやすく、収入が安定できるように
- ▶ 休耕田等の活用

子育て環境
市民会館を遊び場に

一次産業
働きやすく、収入が
安定できるように

海・山・川・夕日

交通△→ネット環境を整える
(生活が豊かに、自宅で仕事)

56号線を中心に町が発展しており、
ロードサイドに店が集中

学生が活動しやすい町に
(企画に参加)

子育て環境
→お金の問題を解決

観光・いもたき
→もっと増やすための企画&工夫

多様な農産物を作れる
→地形・気候に左右されにくい

インフルエンザの注射
(予防接種) の補助

南久米から東大洲まで無料区
間があり、車で移動しやすい

車での生活に便利な、広い駐
車場を備えた店が多い

1クラスの学校が多い
→統合もありではないか

地域コミュニティ
愛護班活動が上手くいかない

子ども会館など小中学生が
集まれる場所を作る

肱南町並み（おはなはん通り）

大洲城下の観光資源持続可能なまち

水資源を有効活用する

中学校の部活の充実

スタンプラリー・クイズ・なぞとき

声をかけあう助けあいのある町

子供たちの素直さ

肱川、河辺の自然

居酒屋がそれなりにある

地元の人が優しい（五郎）

肱川を中心とした自然豊かな町

自然の魅力を大切にする町

温かい人柄

各地花火大会

一人一人が大切にされていると感じられる街

肱南地区を中心に歴史的町並みを活用した観光

タイパやコスパに捉われずゆったり、丁寧に

鮎、川ガニ

塾の充実

肱川あらし

自然豊かな風景

霧

大洲城

お祭り

雪



検討内容 | グループ5

取組

自然・人・ITを活用したつながり

内容

- ▶ 学生と地域の人をつなげる取組み
- ▶ ITで人と仕事をつなげる取組み

大洲市の資源

町並み 大洲城 うかい 雲海 富士山 おいしい水 豊かで美しい自然 自然（肱川）
海 川 山 空気がきれい 観光 肱川（美しい） 宇和海が近い 肱川あらし 鮎とり
昔の町並み まちと自然のバランス 大洲市の観光（大洲城・いもたき） サクラ もみじ
おいしいスイーツ、洋菓子、和菓子 肱南の町並み→大洲歴史を生かす 松山まで近い

人

多くの文化人（歴史的）と文化財
(IC) アクセスよい 大洲がいい
温かい人柄 もどってきたい
多い高齢者 自然・キャンプ
温かい方言 人の優しさ
人の温かさ つながりが強い
芸術家が多い 絵画、写真 人柄が良い

環境（若者）

落ち着いた環境
落ち着いた学校
生活環境がいい
静か、車も少ない
地域のコミュニティ
地域の事業ふれあい
若者の仕事場作り
子供が生活しやすい
働きやすい 物価

つながり

大洲市のイベントに参加
カタソバ ボランティア
国内留学 学校 定住
サテライトオフィス
(大洲でも働ける)
リモートワーク
(多様な働き方)
そのためには支援必要
空き家の活用 学校特区



検討内容 | グループ6

取組

「空地」「空間」「若者」「地域文化」を
活用した『持続可能なまちづくり』

内容

アクトピア跡地を活用し、駅周辺に学生がすごしやすい交流拠点を整備

- ▶ 学生が安心して集い、成長できる環境づくり
- ▶ 駅周辺の活性化と空き地の有効活用
- ▶ ヨサコイ祭りを核とした世代間交流と地域文化の継承

自然

肱川 川 水 海 山奥 霧
歴史 雲海 建築家 カヌー^一
公園 町並み カヌー・サップ
山と川が近い 空気きれい
自然と農業 図書館 とみす山
肱川あらし 学びの場
肱川を活かしたまちづくり
駅周辺学生が過ごせる場所
肱南の町並みとそれを活かした
イベント等
自然と人と愛 伸びしろ

まち

大洲城 盆地 ポコベン横丁 町並み
一人あたりの面積広い 鉄道 宿
静かで空気が良い YOSAKOI ダム湖
ぐるりんバス 遺跡 森…未整備だけど…

人

やさしい 元気な高齢者
施設強化 ノーベル賞
おだかやな性格 研究
コミュニティ 大洲高校
介護施設や病院が多い
人口密度が低い 気楽

食べ物

おいしい料理
とお酒
しいたけ
くだもの
いもたき
うかい

